

4月14日、アップルは「iPad」の米国外での発売時期を当初の4月後半から1カ月延長し、5月末に変更すると発表した。また、5月10日に米国外での販売価格を発表したうえで、同日からオンラインでの予約受付を開始する。

発売延期の理由は、やはり人気爆発で、供給が需要に追いつかなくなったため。米国では4月3日の発売後、最初の1週間で50万台以上を出荷。Wi-Fi + 3Gモデルについても、4月末の納期分に数多くの予約が入っているというから、国外に回す分が足りなくなったようだ。

今回のラインアップは、無線LANに対応した「Wi-Fiモデル」と、無線LANに加え3Gの通信回線が利用できる「Wi-Fi + 3Gモデル」の2モデル。米国ではWi-Fiモデルを4月3日に先行発売した。Wi-Fiモデルの米国での価格は、16GBモデルが499ドル、32GBモデルが599ドル、64GBモデルが699ドル。

